

公益社団法人 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認

<初級・中級>指導者養成講習会・実施基準

JTU 定款の第2章目的及び事業第4条(事業6)により、指導者養成講習会を開催し、公認指導者の全国レベルでの配置を促進しています。

2016年から、国民体育大会トライアスロン公式競技の監督は、「日本体育協会公認トライアスロン指導員資格」を保有していることが条件となります。

講習会の開催にあたっては、以下の項目が「実施基準」となります。

1. 施設

(1) 講義室

- ・使用目的：講義、コンディショニング実技ほか
- ・使用時間：初級2日間、中級3日間
- ・設備：プロジェクター、スクリーンなど(パワーポイント利用可能環境)
- ・その他、予備ルーム(講師、スタッフ控え室)

(2) プール

- ・使用目的：スイム実技
- ・受講者数に見合った貸し切り利用

(3) グラウンド、公園の広場、駐車場など

- ・使用目的：晴天時のラン実技、バイク&トランジッション実技(中級)

(4) 体育館など、屋根付きの施設

- ・使用目的：雨天時のラン実技、バイク&トランジッション実技(中級)、講義室でコンディショニング実技が行えない場合

(5) 宿泊施設

- ・使用目的：受講者、講師、スタッフの宿泊。施設内、近隣の宿泊施設

2. 基本日程

(1) 初級…2日間(18時間)※土日利用

(2) 中級…3日間(22時間)※土日祝利用

3. 講師

- ・全8科目に対し、講師1名が実績に応じ複数の科目を担当する。全体としては、5名以上の構成とする。
- ・初級講習会では、指導資格保有者(初級、中級、日体協)が1名以上、中級講習会では2名以上を配置する。
- ・バイクメンテナンス講義は実務経験者
- ・以上を開催地担当者の推薦により、指導者養成委員会が決定する。
- ・競技ルールについては、審判委員会の推薦を受ける。

4. カリキュラム

●初級

科目	時間
指導者の心得・競技の歴史	1.5
基礎理論 1	1.5
基礎理論 2 (自習)	1.5
競技ルール	2
コンディショニング実技	2
スイム講義	1
スイム実技	2
バイク講義	1.5
バイクメンテ	2
ラン講義	1
ラン実技	2
合計	18 時間

●中級

科目	時間
指導実習 1・2・3	6
救急法	4
スイム実技	4
バイク&トランジッション実技	5
バイクメンテ	2
ラン実技	1
合計	22 時間

(別途、筆記試験有)

5. 受講料と予算

受講料：初級…1名 17,000 円／中級…1名 33,000 円

※基本として講習会収入のみで対応。

委員会と現地担当者が調整し、赤字開催とならないよう計画立案する。

6. 主催団体

現在は JTU 主催事業、加盟団体は協力・主管として運営。

今後は地域ブロックが主催、独立採算制とする独自開催を促進する。

7. 開催申請

開催を希望する加盟団体は、JTU 事務局と JTU 指導者養成委員長に開催希望日と施設概要について申請する。

以上、公益社団法人 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認<初級・中級>指導者養成講習会・実施基準 (2012 年 9 月 10 日現在)